

2014年(現在)の状況(人口・社会・政治・経済・科学)
- 有名かつ人を呼びこめる観光地が少なく、松阪市の観光客が少くない。 - 大学が市内に無い。 - 就職先を求めて若者が市外に出ている。 - 若者が増えない。 - 県内学生の数が全国下位。

10年後

2024年(10年後)の予測(人口・社会・政治・経済・科学)
- 若者の県外・海外に出る人が増える。 - 若者が減少する。 - 少子高齢化が進む。

30年後

2044年(30年後)の予測(人口・社会・政治・経済・科学)
- 少子高齢化がさらに進む。 - 学生の数がさらに低下。

2044年(30年後)の松阪市のビジョン(理想の松阪市の様子)を、ざっくり一言で言い表したキャッチコピー

天空都市“松阪”

どんな立場の人について考えるか
問題・政策・理想の対象となる立場① どんな立場の人のことを考える？世代は？生活は？ 若者の世代の松阪市民。

2014年(現在)と2044年(30年後)の理想を比べてどうか
現在と30年後の特徴①を比べての問題① 浮いていない

10年後

2024年(10年後)から、2044年(30年後)のビジョン実現のために 行なう政策は？ 今から何年後までに完了する？ その予算は？
何を、今から何年後までに その予算は 30年後の特徴①実現のため10年後に行なう政策① 「天空都市“松阪”」を スローガンに②③の 政策を行う。

30年後

2044年(30年後)の理想の松阪市の特徴は？
「松阪市が浮いている」 - 松阪に住みたい人が増加 - 地震がきても安心 - 津波がきても居る - 働く人が戻ってくる - 観光客が増える - 世界から注目もあつた市になる 30年後の理想の松阪市の特徴①

どんな立場の人について考えるか
問題・政策・理想の対象となる立場② どんな立場の人のことを考える？世代は？生活は？ 若い世代の人々

2014年(現在)と2044年(30年後)の理想を比べてどうか
現在と30年後の特徴②を比べての問題② 小・中学校の学力調査で 全国の中で下位

10年後

2024年(10年後)から、2044年(30年後)のビジョン実現のために 行なう政策は？ 今から何年後までに完了する？ その予算は？
何を、今から何年後までに その予算は 30年後の特徴②実現のため10年後に行なう政策② 市立の理系大学 を作る 開学費用 約400億円 維持費 約42億円

30年後

2044年(30年後)の理想の松阪市の特徴は？
理系教育が盛んになる これにより、より優秀な科学者が 多く出る 30年後の理想の松阪市の特徴②

どんな立場の人について考えるか
問題・政策・理想の対象となる立場③ どんな立場の人のことを考える？世代は？生活は？ 研究、研究を したい学生、研究者

2014年(現在)と2044年(30年後)の理想を比べてどうか
現在と30年後の特徴③を比べての問題③ 研究・勉強・研 究したい若者が 他市・県に出る 県外に出たが 戻っていない

10年後

2024年(10年後)から、2044年(30年後)のビジョン実現のために 行なう政策は？ 今から何年後までに完了する？ その予算は？
何を、今から何年後までに その予算は 30年後の特徴③実現のため10年後に行なう政策③ 市に4531教育課を 設け、大学の卒業生を 受け入れる。 大学での研究補助 や、小・中学校で出張 授業を行う。市の人材 の定着をはかる。 1人あたり 年間300万円 20人分 6000万円

30年後

2044年(30年後)の理想の松阪市の特徴は？
1. 優秀な人材があつた 研究の中心に 2. 新しい科学技術を松阪で 発明 30年後の理想の松阪市の特徴③